

impasse[®]

インパスSC[®]



天然糖類を配合

ネオニコチノイド系の殺虫成分に、植物由来天然糖類を誘引剤として配合しています。再発しやすいアリ類に対して高い駆除効果を発揮します。



忌避性がない

各種昆虫類に対して忌避性がありません。アリ類も、散布した施工面上を忌避することなく徘徊するため、直接または生息場所に散布するだけで効率よく駆除できます。



安全性が高い

人や家畜、水棲生物に対する毒性は極めて低く、室内の施工にも安心して使用できます。また、低VOCで、シックハウス指定物質を含みません。



染みになりにくい

乾いた後の処理面も白浮きしないため、室内での施工も可能です。



超低臭性

有機溶剤無添加のため、施工後の残臭もほとんどありません。

■ インパスSCの安全性

急性毒性	経口 (LD ₅₀)	>5,000mg/kg ラット(♂・♀)
	経皮 (LD ₅₀)	>2,000mg/kg ラット(♂・♀)
	吸入 (LC ₅₀)	>2.67mg/L (ラット4時間)(♂・♀)
	目	刺激性なし ウサギ
	皮膚	軽度の刺激性あり ウサギ
	感受性	なし

魚毒性 (ニジマスLC ₅₀ 96時間)	>107ppm (A類相当)
水生生物に対する毒性 (オオミジンコLC ₅₀ 48時間)	>106ppm
気中濃度	30分後には検出限界以下 (検出限界値:0.84μg/m ³)

■ 使用方法

使用前に容器をよく振ってから、本剤を水で適用濃度に希釈し、噴霧器で散布します。希釈液は使用の都度充分攪拌し、その日のうちに使い切ってください。1m²あたり100ml~300ml散布して下さい。

アリ類 (通路に散布する場合) : 1000倍液を50ml/m²の割合で残留噴霧
 アリ類 (巣に散布する場合) : 200倍液を巣へ適宜 直接噴霧
 その他の適用害虫 : 200倍液を50ml/m²の割合で残留噴霧

■ 使用上の注意

●体調のすぐれない時は使用しない。●誤飲に注意する。●散布中は散布区域に小児やペットが出入らないようにする。●使用に際しては、必要量だけを取って調整し、その都度使いきる。●使用目的以外の環境に影響を与えないため、養殖池、井戸、地下水等を汚染する恐れのある場所、蜜蜂、蚕(桑)、水棲生物等に被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないこと。●薬液の調整中や散布中に薬剤が皮膚に付いた時は、直ちに石けんと水でよく洗い落とす。●洗濯物や玩具などにかからないように散布する。●散布液が水槽、池、河川などに入らないように注意する。●本剤を他の薬剤と混合しない。●使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理する。



syngenta[®]

®はシンジェンタ社の登録商標です。

【有効成分】 ネオニコチノイド系化合物、植物性由来天然化合物
 【剤型】 フロアブル剤
 【容量】 500g(比重1.1)
 【適用害虫】 アリ(アルゼンチンアリ、イエヒメアリ、ヒメアリ、ルリアリ、トビイロケアリ)、カマドウマ、クモ、ゲジ、ヤスデ、ダンゴムシ、ワラジムシ、ムカデ、チョウバエ



生活害虫防除剤協議会